

<広報広聴室あて(1部提出)>

平成28年4月20日

記者発表予定表

事 項	記者発表 の 日 時	発表方法	報道規制の有無 (解禁日付き・取材制限) ※原則、報道規制は不可	事後発表 の 有 無	所属名 担当者名 内線番号
病害虫発生予報第1号	平成28年 4月21日 10時	資料提供	無	無	農林総合研究セン ター 総合研究部 病害虫防除室 笠島室長 076(257)6972
	(10時発表の場合) 記者への事前予告の有無	(記者会見の場合) 会見者の氏名・役職	〔「有」の場合〕 理由	〔「有」の場合〕 事後発表日時・方法	
	有	—	—	—	

平成28年4月21日
(資料提供)

(事務担当)
所属名：農林総合研究センター
農業試験場 総合研究部
病害虫防除室
直通：257-6972

平成28年度病害虫発生予報第1号について

今後発生が予想される、麦類、大豆、果樹、野菜の病害虫の発生量や防除上の注意事項を掲載する。

- 1 予報期間 4月下旬～5月中旬
- 2 予報内容

(1) 麦 類

大麦赤かび病の発生は並と予想される。出穂前後の降雨は発生を助長するので、出穂期の3～5日後とその7～10日後の2回防除を実施する。

大麦うどんこ病の発生はやや多と予想される。急進展するようであれば防除を実施する。

(2) 大 豆

タネバエの発生はやや多と予想される。は種時の防除を徹底する。

(3) 果 樹

なし黒星病の発生はやや多と予想される。発生初期の防除を徹底する。

なし黒斑病の発生はやや多と予想される。袋かけ前の防除を徹底する。

かき炭疽病の発生はやや多と予想される。孢子飛散は4月下旬からと予想される。発病が新梢に認められた場合は直ちに防除する。

ハダニ類の発生はやや多と予想される。抵抗性害虫の発生を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

(4) 野 菜

すいか褐斑細菌病の発生はやや多と予想される。トンネル除去時の防除を徹底し、圃場排水に努める。

アブラムシ類、コナガの発生はやや多と予想される。早期発見に努め、発生を認めた場合は防除を実施する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。